

小学生異文化体験学習を実施しました。



豪華なソファーに気分は最高



スコーン作りを体験する児童



英語で話す児童



館内の説明を真剣に聞く児童



英語を用いたゲームを体験



修了証書を受け取る児童



伝統文化のスヌーカーを体験



テーブルマナーを学ぶランチ

6月5日(水)二小の笹山美紀子校長を派遣団長として、一小、二小の6年生と引率合わせて71名が、天栄村のブリティッシュ・ヒルズを訪れました。

この事業の目的は、イギリス文化について言語や習慣、環境について体験をとおして理解することや、自分の良さを見つけ、将来の夢や憧れを持つことができようようにすることです。また、施設を利用するには、マナーを守り、礼儀正しく行動することなどを実践的に学ぶ場として、実施しています。

出発の前日に準備学習会が二小で開かれ、団長から「一小と二小のみんなで絆を深め、積極的に英語にチャレンジしてください」と挨拶があり、児童は、「自信をもって積極的に行動する」など目標を確認し合いました。

当日、施設に到着すると外国人講師が児童を出迎え、活動がスタートしました。

最初にオリエンテーションを受けた後、講師の案内でグループ毎に館内を見学しました。イギリス貴族の

暮らしを感じさせる建物や館内の調度品などを目の前に文化の違いを感じ、遠い異国の雰囲気味わっていました。

その後、講師による英会話のレッスンがあり、日常的な会話、楽しいゲームや活動を通してクラスの仲間と英語で質問し合うなど、英語を話すことへの意欲を高めました。

また、イギリスの伝統的なお菓子であるスコーンを作るレッスンでは、英語での説明を聞きながら、みんなで協力しておいしいスコーンを作ることができました。

昼食は、英国式のレストランでテーブルマナーを意識しながら、おいしくいただきました。

最後に、終了のセレモニーが開かれ、一人ひとりに修了証が手渡されると、児童は、『Thank you!』と大きな声で感謝の気持ちを表していました。児童たちは、英語で話そうと努力する姿勢を見せ、英語漬けの一日でしたが、疲れた様子も見せず、笑顔で体験学習を終えました。